



# 労働災害・通勤災害 防止対策の好事例集



～ 例えはこんな一工夫 ～

京都府小売業プラスセーフ (+SAFE) 協議会 (令和7年3月)

構成員	公益社団法人京都労働基準協会
京都生活協同組合	全国健康保険協会 京都支部
さとう 株式会社さとう	独立行政法人労働者健康安全機構
FRESCO 株式会社ハートフレンド	京都産業保健総合支援センター
マツモト 株式会社マツモト	中央労働災害防止協会
	近畿安全衛生サービスセンター
	京都労働局 労働基準部 健康安全課

各産業で人手不足が叫ばれる中、全国的に労働災害が増加傾向にあります。

この事例集は、京都府小売業プラスセーフ (+SAFE) 協議会の構成員である小売業企業各社の実例をもとに労働災害・通勤災害の防止対策を取りまとめたものです。

各職場で参考とされ、安全で健康な職場づくりの一助としていただけることを期待いたします。

＜お問い合わせ先＞ 京都府小売業プラスセーフ (+SAFE) 協議会 事務局  
京都労働局 労働基準部 健康安全課 TEL:075-241-3216

## 1 『全員参加』で安全衛生水準向上

### 1-1 『労災ゼロ月間』の実施

京都生活協同組合

#### ■ 背景

労働災害に加え、通勤災害も含めて防止対策を講じています。

ある年度では、労働災害と通勤災害の合計のうち、約25%が通勤時に事故に遭っているなど、通勤災害が多く、その約半数が転倒事故となっていました。

#### ■ 取り組み内容

毎年2回『労災ゼロ月間』を定め、企業全体で取り組んでいます。  
例えば、通勤災害が多かった時期には、以下のような取組を行いました。

- 「ヒヤリ・ハット事例報告書」提出を、各職場の労働安全を担当する委員を中心にして全職員に呼びかけ
- 特に増加している「通勤時の事故」を、今回の全体の共通テーマとして設定し各職場で具体的な防止行動を検討
- 前年度発生した労災事故の再発防止実践行動の点検と、対策を徹底
- 労災ゼロ月間スローガンを募集し、ポスターを作成して掲示

2023年度上期労災ゼロ月間のすすめ方について

日頃の労災防止の取り組みありがとうございます。

6月21日(水)～8月20日(日)までの2ヶ月間、上期労災ゼロ月間を実施します。

以下の手順に沿って労災ゼロ月間の取組を進めてください。よろしくお願いします。

1. 「ヒヤリ・ハット事例報告書」提出、職場労安委員を中心にして全職員に呼びかけ、提出されたヒヤリ・ハット事例を共有し、事故防止対策を確認しておきましょう。

2. 「(社員)ヒヤリ・ハットの事例報告会」開催

前年度の労災発生状況から特に増加している「通勤時の事故」を、当社の全体の共通テーマ設定し各職場で具体的な防止行動を検討して取り組みます。

3. 労災再発防止実践行動の点検

各事業所の前年度発生労災事故の再発防止実践行動の実行を行なう事業所で、残念ながら発生していない事業所は1・2の項目に集中します。

4. 労災ゼロ月間スローガン募集

上期労災ゼロ月間が終了した取り組み内容を別紙の報告書に記入し、8/25(金)までに労働衛生課に提出してください。その他の事業所は注意とします。

5. 全労災ゼロ月間スローガンの掲示

職場のなまなまからぬいたいから、中央労働安全衛生委員会で選ばれた3点のスローガンを掲示お願いします。

【参考資料】

【優秀賞】 さん(財務部員)『過去の教訓無駄にせず、一鼓動ゼロ災職場』

【優秀賞】 さん(営業部員)『教訓無駄にせず、一鼓動ゼロ災職場』

【優秀賞】 さん(営業部員)『教訓無駄にせず、一鼓動ゼロ災職場』

◆昨年度労災ゼロ月間スローガン紹介◆

とくにハッカードが手書きなので整理整頓を呼び掛けました、とくに足元に物を置かず通路を確保することに、作業の安全確保だけでなく作業効率の向上につながることを強調しました。月イチの労安委員会では、他事業所の労災報告を自分なりの感想をもとに議論してきました。ここでも、ヒヤリ・ハットの内容に対しては適切に対応することを心掛け、労安メンバーを中心に多くの議論が、労災防止の意識を持ち掛けられるようにしてきました。

「気付けて違うう」など、「今日は何で滑りやすいの」、トラック荷台から降りる時はアオリに一旦手をついて足をすくって降りましょう。」といったように、シートに行動イメージをやすりような発信を心がけているつもりです。また中古ニーズの他事業所での事業をミーティングで紹介する。過去の同じ内容を繰り返すのではなく、「次回はいつまで滑りやすいの」などと具体的に話すことで、労安メンバーを中心に多くの議論が、労災防止の意識を持ち掛けられるようにしてきました。

「気付けて違うう」など、「今日は何で滑りやすいの」、トラック荷台から降りる時はアオリに一旦手をついて足をすくって降りましょう。」といったように、シートに行動イメージをやすりような発信を心がけているつもりです。また中古ニーズの他事業所での事業をミーティングで紹介する。過去の同じ内容を繰り返すのではなく、「次回はいつまで滑りやすいの」などと具体的に話すことで、労安メンバーを中心に多くの議論が、労災防止の意識を持ち掛けられるようにしてきました。

#### ◎ 効果

企業全体で取り組んだ結果、ヒヤリ・ハット事例は256件提出され、職場内で共有されました。

通勤災害は、もう1件の事故によるものでした。

企業の全事業所のうち70%で『労災ゼロ月間』中の労災ゼロを達成し、特に店舗部門では17事業所中15事業所で労災ゼロを達成しました。

## 1-2 労働者全員からの危険箇所ヒアリング

京都生活協同組合

## ■ 背景

労働災害に加え、通勤災害も含めて防止対策を講じており、この事業所では、過去に通勤時の事故が2件発生していたことも、取り組もうとしたきっかけです。

## ■ 取り組み内容

通勤時の危険箇所を、従業員全員からヒアリングしました。

⇒ ヒアリング結果を基に、危険マップを作成しています。

(4ページ 事例4-1参照)

◎ 効果

労働者全員に参画させることで、個々の労働者の安全衛生への意識を向上させ、事業所の安全衛生の水準を引き上げることにつながっています。

## 2 災害情報を全社に『水平展開』

## 2-1 社内に『労働災害ニュース』を発行

さとう

## ■ 背景

災害が発生した店舗の情報を全社で共有することにより、災害が発生していない他の店舗でも対策に活用することができるところから実施したもののです。

## ■ 取り組み内容

社内の災害発生状況などを  
「労働災害ニュース」とし  
て分かりやすくまとめ、月  
次で、各店舗に配布しまし  
た。

## ◎ 効果

各店舗に共有することで、各店舗に安全衛生管理の再点検をさせ、各店舗の管理水準が一定以上に保つことができます。



## 2-2 他店の情報を全社で速やかに共有



### ■ 背景

災害が発生した店舗の情報を同時に共有することで、各店舗で素早く点検し、同様の労働災害を防止できるようにしたもの

### ■ 取り組み内容

- 社内の災害報告について、
- ① 以前は、1か月ごとにまとめて配信していたところ、社内インターネットの既存の機能を利用して、速報としてできるだけ早く配信するようにしました。
  - ② 内容に沿った対策を記載し配信するようにしました。

#### ◎ 効果

各店舗に共有することで、各店舗に安全衛生管理の再点検をさせ、各店舗の管理水準が一定以上に保つことができます。

労災速報	
連絡元	_____
連絡元電話番号	_____
宛先	店舗 (全ての宛先が選択されています) 本部 (4件の宛先が選択されています)
CC宛先	(5件の宛先が選択されています)
期間	_____
重要度	普通
カテゴリ	人事部
連絡内容	連絡内容1 <p>労災速報 さとうラグーブ店舗において労災が発生しました。 内容を確認し、自店・自事業所での労働安全対策に活かしてください。 ① 発生場所：店舗 _____ 加工場 事故の内容：切削 発生状況：作業中、切れ込みを入れるために _____ を持っていた左手を _____ 包丁ですべり切削。 原因と対策：耐切削手袋を未着用でした。商品部からも着用を周知しています。ルールを守ることを徹底してください。 次の内容の確認をお願いします。 1.耐切削手袋の着用を徹底してください。 2.2024年度に入り、切れ込みで _____ が発生しています。その大部分は耐切削手袋を着用していれば防げた可能性が高い案件ばかりです。 店長は各作業場を巡回し、刃物使用時に耐切削手袋を着用しているか順り確認をしてください。 着用していない場合は、その場で注意し、着用を徹底させてください。 * など、着用が不適の作業もあります。 2.労災発生時は速やかに勤務実態部と人事部に一報をお願いします。 内容を確認されましたら「はい」でご回答ください。</p>
回答内容	はい/いいいの選択式で回答する

## 3 ルールを『表示』、みんなで遵守

### 3-1 バックヤードの『荷物高さ表示』



### ■ 背景

バックヤードの在庫を高く積み上げることで、高所から商品が落下する可能性があります。また、商品の積み上げや積み下ろしの際に作業者が無理な体制を取ることや、上方の荷を取ろうとして踏み台等を使用し、墜落するなどの災害の可能性があります。

### ■ 取り組み内容

バックヤード在庫の高さを基準を壁に明示しました。

#### ◎ 効果

誰もが分かる明示をすることで、在庫の高さを基準内に維持することができるようになりました。



### 3-2 スイングドアの『左側通行表示』



### ■ 背景

スイングドアは、ドアの向こう側が見えづらく、ドアの向こう側の来店客や労働者との接触の可能性があります。

### ■ 取り組み内容

スイングドアでは左側通行であることを「↑」で表示するとともに、危険があることについて、注意喚起の掲示を行いました。

#### ◎ 効果

以前は「左側通行」と文字で表示していましたが、誰もが分かるよう矢印やマークで明示をすることで、視覚的になり、各従業員が作業行動を見直すようになりました。



### 3-3 危険箇所への『注意事項表示』

#### ■ 背景

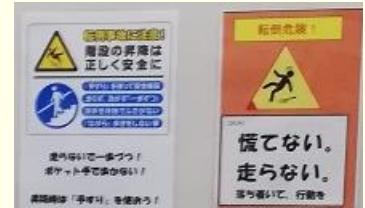
階段を踏み外して墜落するなどの労働災害が発生していたことがきっかけです。

#### ■ 取り組み内容

事業所の危険箇所に、注意喚起の表示を行い、「慌てない」「走らない」「ポケットに手を入れない」「手すりを持つ」を職場のルールとして明確にしています。

##### ◎ 効果

労働者への意識づけにつながっており、作成後、この事業所では、階段の墜落による労働災害は発生していません。



## 4 注意喚起で『意識付け』

### 4-1 『交通安全マップ』の作成

京都生活協同組合

#### ■ 背景

通勤時の事故が発生していたことがきっかけです。

#### ■ 取り組み内容

事業所の従業員全員からのヒアリング（2ページ事例1-2参照）の結果を基に、『交通安全マップ』を作成し、事業所の玄関扉内側に掲示しています。

##### ◎ 効果

労働者への意識づけにつながっており、作成後、この事業所では、通勤災害が発生していません。



### 4-2 階段の『残り段数表示』

京都生活協同組合

#### ■ 背景

階段を踏み外す事例があったことがきっかけです。

#### ■ 取り組み内容

階段に、残り段数と、総段数を表示しました。

##### ◎ 効果

残り段数を意識付けることで、降りる際に足元を注意してもらうことができています。当初、疑問を感じる労働者もいましたが、総段数も併せて記載したことで理解が生まれ、表示後、階段での災害は発生していません。



### 4-3 『はさまれ・激突危険箇所への明示』

FRESCO

#### ■ 背景

狭い通路に配管があり、カゴ台車と配管の間に手などがはさまれるおそれがありました。

#### ■ 取り組み内容

はさまれるおそれの高い箇所にある配管にトラテープを巻いて視認しやすくしています。

##### ◎ 効果

明示した配管について、はさまれる災害は発生していません。

